

消化器外科における周術期脳梗塞発生リスク因子の検討

1. 研究の対象

2011年11月～2019年7月に当院外科で手術を受け、周術期脳梗塞を発症された方

2. 研究目的・方法

【背景と目的】

周術期脳卒中とは、手術中または手術後30日以内に生じる虚血性または出血性の脳卒中のことです。発症される方は、比較的稀ですが重大な合併症であり、その99%は脳梗塞であると報告されています。今回、消化器外科術後に発生した周術期脳梗塞のリスク因子について検討します。

【方法】

患者背景、手術関連因子、術後合併症、脳梗塞リスク因子、治療、転帰等について検討します。

【統計手法】

統計ソフトはJMP10を使用、連続変数に関してはWilcoxon検定、カテゴリ変数に関してはカイ二乗検定を行います。

【研究実施期間】

2019年9月2日～2020年4月

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

熊本県熊本市南区近見 5-3-1 済生会熊本病院

096-351-8000 (病院代表)

研究責任者：外科 小川克大

以上